

COUNTRY RISK WEEKLY BULLETIN

28 August, 2008

IN THE HEADLINES



グルジア

8月26日、ロシアは分離独立を求めるグルジアの南オセチヤ自治州ならびにアブハジア自治共和国の独立を正式に承認する声明を発表した。ロシアは分離独立地域の周囲に広範囲にわたって平和維持活動地を設け、グルジアの正当な領土の相当部分の支配を続けている。これは8月16日の停戦合意を明らかに無視するものである。ロシアの動きを西側諸国は強く非難しているものの、これまでのところクレムリンが事態を深刻に受け止めている様子はみられない。この混乱はグルジア経済に長期にわたってダメージを与え、コーカサス地域で高まっている不安定な状況を長引かせ、ロシアと西側諸国の関係を一層冷えたものにする予想される。



タイ

5月以来、抗議活動を続けてきたPAD(「民主主義市民連合」)が、8月26日に現内閣の総辞職を求める抗議集会を展開、約3,000人が8月26日に首相府および官庁を取り囲んだ。抗議集会の参加者は、サムック現首相を追放されたタクシン前首相の代行者であるとして非難している。抗議参加者の活動に共感し立ち上がる動きはまばらで、現在のところ軍は介入を否定、警察の事態に対峙しようとする動きも緩慢である。抗議活動が長引けば長引くほど政府の立場は不利になるとみられる。タクシン首相の追放を招いた2006年の軍事クーデターもPADの集会が発端であった。



エクアドル

新憲法承認を決める国民投票の日程が9月28日に決定し、これによりコレア大統領の権力が増し、再選の可能性と新左翼的な政策の勢いが増す一方で、従来からの不安定さを幾分解消するような構造的変化が生まれると思われる。世論調査の結果は、賛成票が承認に必要な過半数を上回る53%、反対票が40%半ばと分かれた。しかしながら、コレア大統領が積極的にキャンペーンを開始し、大統領の個人的な人気をてこに賛成票にまわる国民を増やしていることから、新憲法に対する支持者の数は増えているという見解で識者は一致している。今後数週間はさらに激しいキャンペーン活動が繰り広げられると予想される。



ザンビア

ムワナワサ大統領が先週逝去したことから、90日以内に大統領補欠選挙が行われることとなっているが、法相は議会選挙と大統領選挙の同時期に実施するために新大統領の任期は2011年までとするとしている。与党MMDには明確な後継者が育っておらず、9月5日の候補者選において党幹部の意見が一致するのは難しいとみられる。これは、党内に亀裂が残るものの、バンダ現副大統領にとっては追い風となる。一方、2大野党は統一候補の擁立を行わないとしている。したがって、選挙戦は熾烈な戦いとなるものの、服喪期間が明けるとの21日間はキャンペーンが静かに繰り広げられると予想される。

ALSO IMPORTANT---



メキシコ

事前のコンセンサス予想を下回ったうえ、今年は第1四半期にあたった復活祭(イースター・ウィーク)の影響があったものの、第2四半期の実質GDP成長率は前年同期比で2.8%と第1四半期の2.6%をわずかながら上回った。下期はインフラへの公共投資が寄与するものの、金融政策の引き締め(8月までに3ヶ月連続で政策金利を引上げ)と依然として低迷の続く北米市場を背景に、下期の成長は2008年から2009年にかけてさらに落ち込むものと予想される。7月の小売売上高は前年同月比で1.6%にまで低下、工業生産は前年同月比で5月、6月と続けて後退している。これまで消費を下支えしてきた海外労働者(主に米国)からの仕送りも上期は減少している。



マレーシア

8月26日に行われた下院補欠選挙で野党連合の事実上の指導者アンワル・イブラヒムが圧倒的勝利をおさめた。これにより与党連合・BN(国民戦線)に不信任投票を投じ、政権の転覆を狙う同氏の勢力が強まるとみられる。しかしながら、イブラヒム氏の戦略が成功するかはまだまだ不透明である。BN所属の国会議員140名のうち少なくとも30名によるくら替えが必要であるが、自身が率いる野党連合3党内ですべてに異を唱える動きが出始めている。加えて、アンワル氏自身が同性愛容疑で訴えられており、再び実刑判決を受ける可能性がある。当面、政治的に非常に不安定な時期が続くと予想されるが、景気への影響は限られたものとなる。

COUNTRY REVIEW SUMMARIES



ウクライナ

政治は構造的リスクが相変わらず高い状況にある。議会と大統領の間のほとんど絶え間ない権力闘争と脆弱な連立政権をつくっている憲法の不備により国内政治は麻痺している。さらに、ロシアとの緊迫した関係の続く地方は危険な状況にあり、ロシアとグルジアの紛争により事態は一層深刻化している。すでに深刻な状況にある経済は、記録的なインフレや貸付の増大、経常赤字の大幅な拡大などリスクがさらに高まっている。こうした問題は景気の加熱に加えて、その後には経済がハードランディングするリスクが非常に危惧されることを意味している。



ドミニカ共和国

地滑り的な勝利をとげたレオネル・フェルナンデス大統領は続投の2期目(合計で3期目)の政権運営に入ったが、いくつかの深刻な課題に直面している。グローバル経済の停滞が観光産業とニッケル価格に影響を与えているほか、原油価格および食料品価格の高騰により2008年7月のインフレが前年同月比で13.7%にまで上昇、選挙前の財政支出の増加に伴い2008年の経常赤字は対GDPで8%に達するとみられており、2008年から2009年にかけて経済成長は大幅に落ち込むと予想される。こうした事態に対処すべく、いくつかの引き締め策が対策として実施されており、IMFが政策を監視することとなっている。海外からの直接投資は引き続き好調であり、負債比率も過度な水準には達していない。

IN BRIEF

北朝鮮

米国は平壤が6月の六ヶ国協議の合意を無視して核施設の無能力化作業を停止したことを受け、北朝鮮のテロ指定国家解除を撤回した。

Edited by Andrew Atkinson

The content of the report (which is subject to change without notice) reflects only our opinion, which is based on information received by us. Accordingly no warranty, representation or other assurance is given as to the accuracy or completeness of the report. The report is for general information and is not intended to address any requirements you may have, for which you must obtain independent advice. The report does not constitute any form of advice, recommendation or arrangement by Euler Hermes UK plc or by the Euler Hermes Group of Companies and must not be relied upon in the making of any decision, agreement or arrangement. © Euler Hermes UK plc 2008.